



取扱説明書

小型オイルドレーナー「持てるくん」

No.GOD24B

自動車用オイル交換作業時の廃油抜き取り、搬送用機器です。

このたびは、**KTC** 小型オイルドレーナー「持てるくん」(No.GOD24B)をお買上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品をより安全・適切にお使いいただく為、この取扱説明書をお読み下さい。
 取扱説明及び表示の注意事項や使用方法を十分にご理解いただいた上で正しくお使い下さい。
 なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管して下さい。

注意	誤った取扱いをした場合、傷害を負う可能性が想定される内容及び、物的損害の発生が想定される内容を表します。	禁止行為を表します。
必ず	必ずしてほしい行為を表します。	注意
		確認してほしい行為を表します。

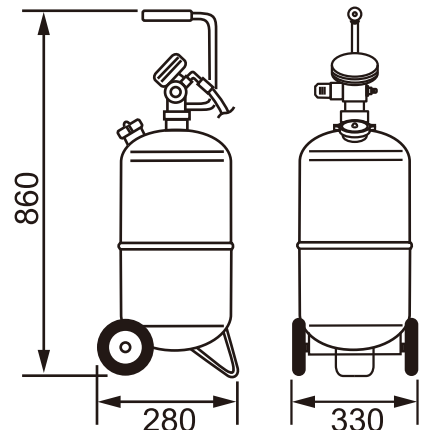
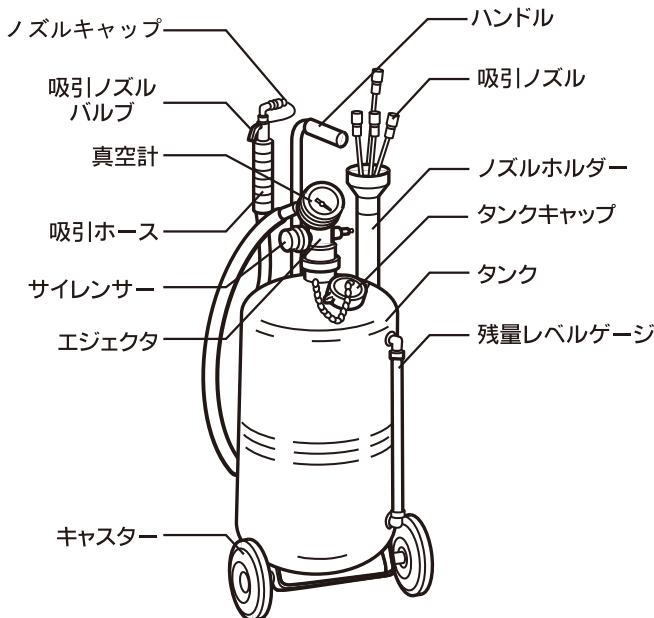
使用上の注意

本製品をお使いになる前に		注意
<ul style="list-style-type: none"> ● 製品の取扱説明及び注意事項をお読みになり、十分理解した上でお使い下さい。 ● 各部の取付けボルト及びナットに緩みがないことを確認した上で使用して下さい。 ● 本製品に化学薬品、海水、水分等を付着させないように使用して下さい。 ● 保守点検等は取扱説明書の手順に沿って行って下さい。取扱を誤りますと製品や車輛の破損又は作動不良の原因となります。 ● 製品のメンテナンスに際しては取扱説明書を確認の上、製品仕様を守り各部の交換、清掃等を行って下さい。 ● 安全のため保護めがねなどを着用して作業して下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 製品又は作業対象部位に亀裂、変形などの異常が認められる場合は使用しないで下さい。 ○ 荷重を掛け過ぎると破損する可能性があります。仕様範囲外での使用はしないで下さい。 ○ 故障の原因となりますので衝撃を加える等の外圧を与える行為は行わないで下さい。 ○ 分解、改造はしないで下さい。加熱、加工した場合には本来の性能を発揮することはできません。 ○ 本製品を使用する場合には、不安定な場所で使用しないで下さい。 ○ 適用外対象物、仕様範囲外の部位では破損や作動不良の原因となりますので使用しないで下さい。 	

本製品で作業される前に		注意
<ul style="list-style-type: none"> ● 高温のオイルを抜き取る際は、保護めがね、作業用手袋、耳栓、安全帽、防塵マスクを着用し、目づ、火傷に注意して下さい。 ● 本製品を車輛等に積載して移動する場合、必ずベルト等で固定し転倒を防止して下さい。 ● 移動時以外は水平であり、地面が硬くしっかりした場所で垂直に立てて下さい。 ● 移動時はタンクキャップを開めた状態でハンドルをしっかり持ち、転倒に注意して下さい。 ● 廃油排出時に本体を勢い良く傾けると、オイルが噴き出す事があります。無理に傾けずゆっくり排出して下さい。 ● 補修部品はKTC 純正品をご使用下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本製品は自動車のオイル用です。本来の用途以外での使用、又は改造は行わないで下さい。 ○ 可燃性の強いもの(ガソリン、シンナー、ベンジン等)、腐食性の強いもの(ブレーキ液、LLC、薬品、水等)を入れてしないで下さい。 ○ タンクを加熱しないで下さい。熱源の近くで使用しないで下さい。 ○ 傾斜及び地面が軟らかい場所、凹凸のある場所では使用しないで下さい。 ○ タンク内を減圧した状態で放置しないで下さい。 	

仕様及び各部名称

品名	No.	タンク		キャスター径	入力用	吸引ホース	廃油排出方法	▼kg
		全容量	有効容量	固定	エアカプラ			
小型オイルドレーナー 持てるくん	GOD24B	24リットル	20リットル	φ125	日東工器20PM	φ19・2m	手動式	13.7



適用

軽自動車から普通車、2tトラックまで

保管方法

- ・エアホースを取り外した状態で吸引ホースを巻き取り、吸引ノズルをホルダーに収納し、安定した場所に保管して下さい。
- ・長期間保管する場合はタンクの廃油を全容量排出し、転倒しないよう輪止め等でキャスターを固定させて保管して下さい。

メンテナンス

定期的にエジェクタのサイレンサーカバーを取り外して汚れを確認して下さい。
汚れはお湯などで清掃し、十分に乾燥させてから取り付けて下さい。

注意

長期間フィルターを清掃しなかったり、エアホースを接続したまま廃油の吸引をした場合、エジェクタのフィルター部より廃油のミストが吹き出すことがあります、負圧が高まらなくなる可能性があります。

使用方法

1. 廃油の抜き取り方法

〈抜き取り準備〉

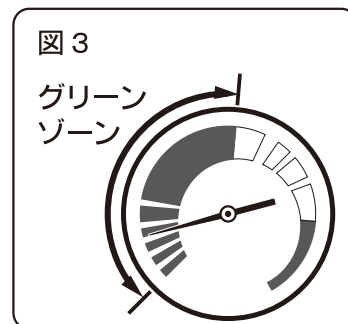
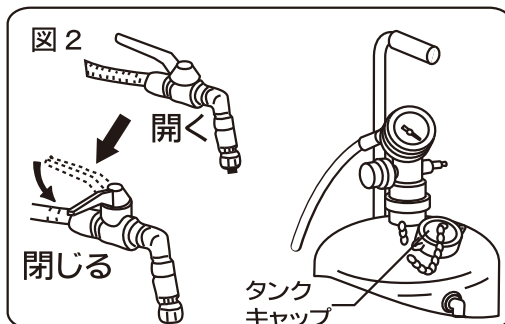
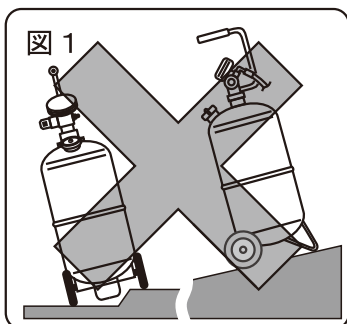
- ① 水平で安定した場所にオイルドレーナーを置きます。(図1)
- ② 作業を行う車両を、水温が安定するまで暖気運転します。
(エンジン停止後、間もない場合はそのまま作業ができます。)
- ③ タンク内の廃油を残量レベルゲージで確認します。
廃油を排出する場合は、「廃油の排出方法」(3ページ)を参照して下さい。
- ④ 吸引ホースのバルブ、タンクキャップをエア漏れしないよう確実に閉じます。(図2)
- ⑤ エアホースをエジェクタへ接続し、真空計の針がグリーンゾーンに到達し針が安定した事を確認しエアホースを外します。(図3)
(エアホースをエジェクタから外してもワンウェイバルブが作動して負圧を保持するため、エアホースが届かない場所でも作業ができます。)

注意

- ・エジェクタは0.6~0.7MPa (6~7kgf/cm²) 付近で最高効率となります。
端末のエア圧力が低い場合はグリーンゾーンへ到達しない場合があり、その状態で使用すると吸引時間が長くなります。
- ・端末のエア圧力が高い場合も低い場合と同じ症状になります。エアレギュレーターを使用してエア圧力を0.6~0.7MPaに調整して下さい。

推奨エアレギュレーター

メーカー名	品番	メーカー名	品番
SMC	ARX20-02	黒田精工	R010-02
	G46-10-02 (メーター)		G10-52 (メーター)

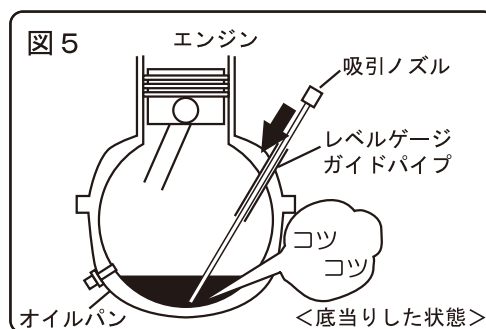
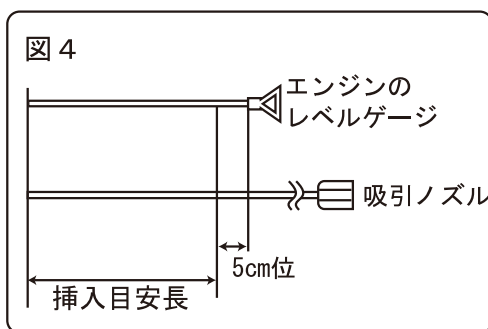


〈抜き取り作業〉

- ⑥ 作業を行うエンジンのレベルゲージを抜き、レベルゲージの首下長さとガイドパイプの内径から、最適な太さと長さの吸引ノズルを選択します。
- ⑦ 吸引ノズルはレベルゲージの首下長さより5cm程度短い長さを目安として挿入します。(図4)
- ⑧ 吸引ノズルを少しずつ出し入れし、オイルパンに底当たりする位置で止めます。(図5)
- ⑨ 吸引ホースのノズルキャップを外し、吸引ノズルと吸引ホースを接続します。
- ⑩ 吸引ホースのバルブを開くと廃油がタンクへ抜き取られます。
- ⑪ 吸引ノズル内を気泡が流れ始めたら、吸引ノズルをゆっくりと±5cm程度出し入れし吸い残しがないか確認します。

- ⑫ 吸引ノズルを出し入れして、再度廃油を吸引し始めたら、その位置で吸引ノズルを止め、⑪の作業を数回繰り返します。
- ⑬ 廃油の流れがなくなったら、吸引ホースバルブを閉じ、吸引ノズルと分離してノズルキャップを装着します。
- ⑭ 吸引ノズルを抜き、レベルゲージをガイドパイプへ戻します。

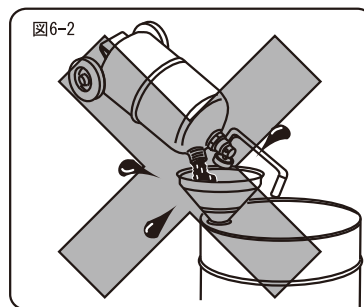
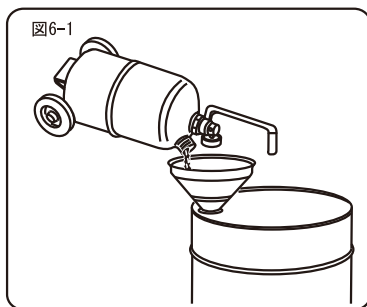
- 注意**
- ・メタルタイプの吸引ノズルはペール缶等の容器からの抜き取り専用です。
 - ・メタルタイプの吸引ノズルをエンジンへ挿入しないで下さい。
 - ・フレキシブルタイプの吸引ノズルでも太すぎるものを無理やりレベルゲージのガイドパイプへ挿入しないで下さい。
 - ・吸引ホース、ノズルがエンジンの排気管等高熱にさらされないよう注意して下さい。
 - ・残量レベルゲージを確認し廃油量が20リットルに達したら、吸引を中止して下さい。
 - ・エンジンの構造や、吸引ノズルの曲がり具合により、全量を吸引できない場合があります。



2. 廃油の排出方法 (排出作業は真空計の針が完全に戻っている事を確認してから行って下さい。)

- ① 吸引ノズルバルブを閉じます。(2ページ図2)
- ② タンクからノズルホルダーを取外します。
- ③ タンクキャップを緩め、取り外します。
- ④ タンクを落とさないようしっかり持ち、廃油先(ドラム、廃油槽等)へ排出します。(図6-1)
- ⑤ 排出が完了したら、タンクキャップを閉じます。

- 注意**
- ・廃油満タン時はタンクが重くなるため、タンクを落とさないようにして下さい。
 - ・高温のオイルが突出することにより、火傷やケガをする恐れがあります。
 - ・排出する際に急にタンクを傾けると、高温のオイルが一気に排出され噴き出す事があり危険です。(図6-2)



トラブルチェックポイント 本来の性能が得られなくなった場合は次の要領で確認して下さい。

? 真空計の針がグリーンゾーンに達しない。

- A** 空気を吸っていることが考えられますので下記の点を確認して下さい。
- ・吸引ホースの吸引ノズルバルブを確実に閉じて下さい。
 - ・タンクキャップ内側のゴムパッキンがあることを確認しキャップを開けて密着させて下さい。
 - ・タンクの残量レベルゲージや吸引ホースのつなぎ目が緩んでいることが考えられます。増し締めして下さい。

実施したが改善されない場合には・・・
KTC 取扱店様に修理・点検をご相談下さい。

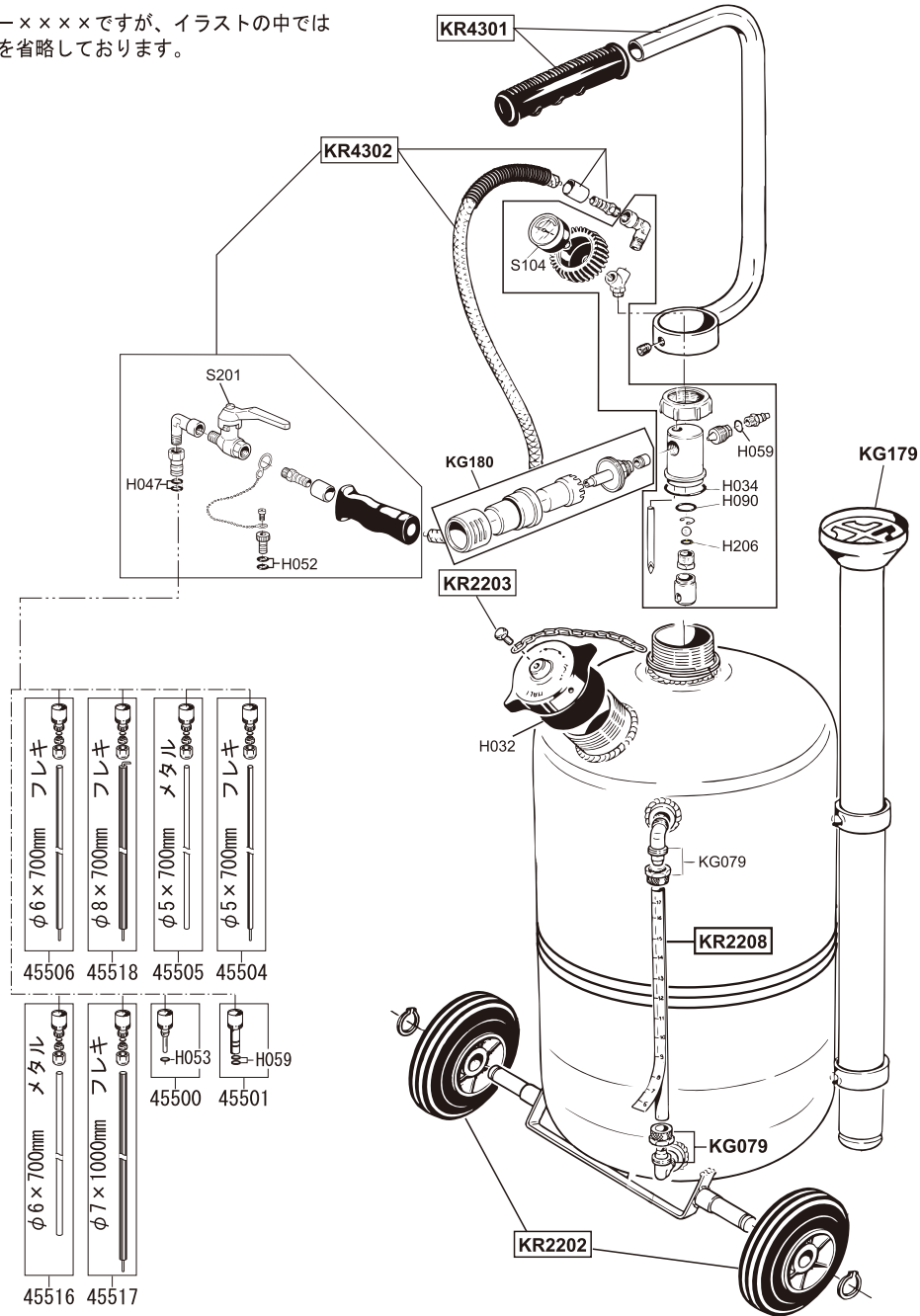
- A** 入力エア圧が不適切である場合が考えられます。
- ・推奨エアレギュレーター(※)を使用し入力エア圧力を0.6~0.7Mpa(6~7kgf/cm²)に調整して下さい。
 - ※: 推奨エアレギュレーターについては「1.廃油の抜き取り方法」(2ページ)を参照して下さい。

? 真空計の針がグリーンゾーンに達したが、「廃油吸引しない」または「吸引に時間がかかる」。

- A** 吸引ノズルやエジェクタのサイレンサー部・カプラ部に異物が詰まっていることが考えられます。
- ・エアブロー等で清掃して下さい。
- A** オイルが硬いことが考えられます。
- ・特に冬期はエンジンオイルの粘度が硬くなり、吸引に時間がかかります。作業を行う前に水温が安定するまで暖機運転した後、エンジンを止めて作業をして下さい。

補修部品

この部品番号は全てGOD-××××ですが、イラストの中ではスペースの都合上GOD-を省略しております。



部品名称	部品品番	員数	部品名称	部品品番	員数
アダプターA	GOD-45500	1	ハンドルAssy	GOD-KR4301	1組
アダプターB	GOD-45501	1	吸引ホースAssy	GOD-KR4302	1組
フレキシブルノズルφ5×700mm	GOD-45504	1	エアレギュレーター用バルブ	GOD-S201	1
メタルノズルφ5×700mm	GOD-45505	1	真空計	GOD-S104	1
フレキシブルノズルφ6×700mm	GOD-45506	1	パッキン	GOD-H032	1
メタルノズルφ6×700mm	GOD-45516	1	Oリング	GOD-H034	2
フレキシブルノズルφ7×1000mm	GOD-45517	1	Oリング	GOD-H047	2
フレキシブルノズルφ8×700mm	GOD-45518	1	Oリング	GOD-H052	2
レベルゲージエルボAssy	GOD-KG079	2組	Oリング	GOD-H053	1
ノズルホルダー	GOD-KG179	1	Oリング	GOD-H059	3
サイレンサーAssy	GOD-KG180	1組	Oリング	GOD-H090	1
固定キャスター	GOD-KR2202	1組	Oリング	GOD-H206	1
タンクキャップ	GOD-KR2203	1			
残量レベルゲージAssy	GOD-KR2208	1組			

製造国：イタリア 販売者の名称・所在地：京都機械工具株式会社 〒613-0034 京都府久世郡久御山町佐山新開地128番地

URL <http://www.kyototool.co.jp/>

本製品の問い合わせは、最寄りの下記支店・営業所までお寄せください。

お客様窓口
 (ものづくり/お客様センター)
 TEL:0774-46-4159
 FAX:0774-46-4359
 Email:support@kyototool.co.jp

支店 TEL/東京 03(3752)2261/名古屋 052(882)6671/近畿 0774(46)3711
 営業所 TEL/札幌 011(824)0765/仙台 022(231)6322/金沢 076(291)4546/広島 082(273)0202
 /四国 087(869)4474/福岡 092(441)5637

No. T56002-0.05.05.500.KTC